

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】令和6年1月4日(2024.1.4)

【公開番号】特開2022-150251(P2022-150251A)

【公開日】令和4年10月7日(2022.10.7)

【年通号数】公開公報(特許)2022-185

【出願番号】特願2021-52776(P2021-52776)

【国際特許分類】

E 03 D 5/10(2006.01)

10

E 03 D 11/02(2006.01)

A 47 K 13/10(2006.01)

【F I】

E 03 D 5/10

E 03 D 11/02 Z

A 47 K 13/10

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月21日(2023.12.21)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また本発明の便座装置は、便座と、便蓋と、該便蓋の開閉を検知する便蓋開閉検知部と、前記便蓋を開閉する便蓋駆動部と、ボウルを有する洋風便器本体に対する洗浄指示を受け付けるボウル洗浄指示手段と、を備え、前記洋風便器本体に取りつけられる便座装置であって、前記ボウル洗浄指示手段による洗浄指示があったときに、前記便蓋が開状態であれば、前記便蓋の閉動作が開始し、その後、閉止するまでの間に、前記ボウルへの洗浄水の供給を開始するように前記洋風便器本体に洗浄指示を出力することを特徴とする。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

さらに洋風便器装置1は洗浄操作部29を備えている。この洗浄操作部29は、洗浄の指示を、後述する制御部5を介して便器洗浄部13に出力する大便用洗浄ボタン29aおよび小便用洗浄ボタン29bを備えている。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

洗浄指示を受けたときに便蓋20が閉状態であれば、その後すぐにボウル12の洗浄が実行される(S201のY、S202)。洗浄終了後には、使用者のボウル12内の確認のために、便蓋20を開動作させ、開状態となってから一定時間後に、閉状態となった便蓋20を開動作させて、閉止させる動作がなされてもよい。

50

**【手続補正4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

洋風便器装置1としては、便座24と便蓋20とが一体として取り替え可能なものであってもよい。特に図7に示すような便座装置30が後付けされた（あるいは取り替えられた）洋風便器装置3であってもよい。図7(a)(b)にもとづいて、本発明の他の実施形態に係る洋風便器装置3およびそれに用いられる便座装置30の各基本構成について説明する。

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

なお、図7(a)に示すように、洋風便器装置3は便座装置30側のボウル洗浄操作部49だけではなく、洋風便器本体3A側の洗浄操作部29をも含んだ構成とされている。つまり、図7のものは、洗浄操作部29、ボウル洗浄操作部49のいずれでも洗浄指示ができる構成とされている。また、洋風便器本体3A側に洗浄操作部29を設けずに、ボウル洗浄操作部49でのみ洗浄指示ができる構成であってもよい。なお、ボウル洗浄操作部49も大便用洗浄ボタンと小便用洗浄ボタンとを有することが望ましい。

10

20

30

40

50